



舟岡山城 (白山市指定史跡)



本丸南西隅の石垣



本丸口



「白山比咩神社創祀之地」の石碑 (平成5年建立)



所在地：石川県白山市八幡町
 別称：白山城、八幡城、劔城
 立地：丘陵頂部、標高186m
 城主：坪坂平九郎、若林長門守（一向一揆）、佐久間盛政、高畠定吉（前田利家家臣）
 時期：室町、戦国
 見学時間（参考）：30分～1時間30分

舟岡山城は手取川扇状地を一望できる舟岡山の南端部に位置し、西側に白山麓に通じる街道や手取川が流れる交通の要衝であった。南方は谷間集落やかすかに鳥越城を望むことができる。

遺構は削平地（曲輪）、切岸、土塁、堀切、石垣が残っている。石川県内の中世城郭としては織豊期の広範囲な石垣分布は舟岡山城と七尾城のみに見られる。築城時期は不明。「越登賀三州志（古墟考）」によると、長享年間（1487～89）頃に向一宗の坪坂平九郎が居住したと伝える。天正8年（1580）に向一揆の若林長門守を謀殺して、織田方の佐久間盛政が城を取った。天正11年（1583）前田利家が河北・石川二郡を加増されて金沢に入城すると、丹羽長重との領地権や、白山麓一向一揆への備えとして重臣の高畠定吉を城主とし石垣を積み大改修した。城は元和元年（1615）一国一城令の時には完全に廃城になったと考えられている。



北口・舟岡山遊歩道入口



舟岡山遊歩道の案内板（北口）

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
 北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
 〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
 TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
 E-MAIL. contact@j-sampo.com
 ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>